

2025年7月5日に大災害が起こるというたつき諒の「予言」を考察する

グッチ

この「予言」はたつき諒氏の本『私が見た未来 完全版』(飛鳥新社)に由来し、スピリチュアル好きな人たちが広めているものですが、その本の内容を以下にまとめて検討しておきたいと思います。

たつき氏は「日本列島の南に位置する太平洋の水が盛り上がる」ビジョンを1998年インドに行っているときに既に見ている。

2021年7月5日4時18分に、同じ夢を見たがそのときは2025年7月という日付も見えた。

(たつき氏は太平洋の水が盛り上がる日付を2025年7月としか言っていない。

二度目にその夢を見た日が2021年7月5日4時18分だとしている。

なのに、世間では太平洋の水が盛り上がり、日本などに押し寄せる日付を2025年7月5日とか、さらには4時18分と時間まで決めている「予言」もある。

これはたつき氏が夢を見た日の日付と時間を勝手に津波の起こる日と時間にしている。)

「突然、日本とフィリピンの間あたりの海底がポコンと破裂(噴火)したのです。

その結果、海面では大きな波が四方八方に広がって、太平洋周辺の国に大津波が押し寄せました。

その津波の高さは、東日本大震災の3倍はあろうかというほどの巨大な波です。

その波の衝撃で陸が押されて盛り上がり、香港から台湾、そしてフィリピンまでが地続きになるような感じに見えたのです。」(82ページ)

「南海トラフ地震の想定をはるかに超える壊滅的な大津波が日本の太平洋側を襲う映像が見えました。

ですが、事前に準備しておいたことで多くの命が助かり、速やかに復興に向かって人々が生き活きと暮らしている、明るい未来像も同時に見えたのです。」(86ページ)

「大切なのは、準備すること。災難の後の生き方を考えて、今から準備・行動をしておくことの重要性を改めて認識してほしいのです。」(87ページ)

「2025年7月に起こる大津波の後の世界についてですが、私には、ものすごく輝かしい未来が見えています。」

「悪いことのあとにはいいことが、いいことのあとには悪いことが起こるといいますが、この大災難が起こることによって、世界の状況は大きく変わっていきます。

無責任なようですが、正直なところ、私にもあまり具体的なイメージは見えていません。

ですが、未来が光り輝いていることは間違いありません。

地球全体で、すべての人々の状態が明るく輝き、生き活きと暮らしている — そういうイメージを感じるのです」(88ページ)

絵: 夢で見た「大災難後の明るい未来」。スカートをはいた女性たちが畑の作物を収穫している。

(この絵の)夢を見た日: 2001年1月1日

「生きることや幸せを願って前向きに努力してきた人には『光り輝く未来と愛』が待っている。

ちなみに〈2011年3月〉と見えたときは〈大災害〉という言葉と一緒に見えましたが、〈2025年7月〉は〈大災難〉と見えました。

〈災害〉と〈災難〉の違い — もしかして、原因が人為的なものによる〈災難〉なのかな?とも思いました。」(89ページ)

「準備ができていれば被害は少なくすむとはいえ、それなりの被害は避けられません。

でも、そのとき仮に地球の人口が激減したとしても、残った人たちの心は決して暗くならないでしょう。

心の時代の到来、つまり心と魂の進化が起こるからです。」(90ページ)

考察:

これは夢予知であって、本当に起こるとは限りません。

夢予知の先人、エドガー・ケーシーの予言も外れがほとんどです。

「カリブ海に新しい土地が現れる時期を、1968年ないし1969年と定めた。」

「1958年から1998年に至る時期の後半に(中略)、ロスアンゼルス、サンフランシスコ、ニューヨークの破壊」

「この動的な40年間(1958～1998年)に、日本のかなりの部分が海に沈み、北部ヨーロッパに大変動が起こる」

(世紀最大の予言者 超人ケーシーの秘密 上巻)(ジェス・スターン著、棚橋美元訳、たま出版、59～60ページ)

たつき氏の場合は、「大災害は2011年3月」という夢を見て、東日本大震災の年月を夢で当てたので、2025年7月も災難の夢は当たるのだろうか?と思う人も出てくるわけです。

この大災難によって心と魂の進化が起こるという「アセンション」的な展望も、スピリチュアル好きな人たちの心に刺さるのでしょうか。

修行による精神進化もなしに、今の肉体のまま高次元に行けるという考えには無理があります。

現生人類がマナスを完成してひとつ高い段階に到達するには精神を進化させてアストラル体を浄化しないといけないのですが、それはそんな簡単なことではありません。

アストラル体が欲望や不安に濁ったまま高次世界(木星紀)に上昇できると考えるのはルチファーの影響で生じた空想的飛躍だろうと思います。

修行を全うしていないチャネラーによるチャネリングの宣託も巷に氾濫していますが、それを額面通り信じるのはやはり危険です。

結論:

このような「予言」を信じたくなる背景には地球文明の終焉を危惧せざるを得ない世界情勢があります。

全面戦争の危機が中東にも、ロシア・NATO 間にもある。

人間の経済活動が起こす地球温暖化によって従来の生活基盤が壊されていく。

特に日本では南海トラフ巨大地震や首都圏直下地震の発生の確率が年々高まっており、破滅の予感が国民の意識下に巣食っている。

このようなよく知られた危機の他にも、あまり公になっていないUFOがらみの問題がありますが、それは別に考察します。